

## 教材・支援機器活用実践事例【ICT】

## 生徒同士が伝え合うための ICT 活用

### 「実物投影机やプレゼンテーションスライドを使った発表」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・高等部3年
	障がい名等	聴覚障がい
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	・ 準ずる教育課程で学んでおり、音声や手話を利用して伝え合うことができる。
授業について  (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	国語
	単元(題材)名	単元名「殺し文句は永遠に一恋する伊勢物語」
	単元(題材)の概要	・ 自分の意見や他者の意見をワークシートに書き加えてまとめたり、スライドを作成して発表したりする活動を通して内容の理解を深める。
教材・教具支援機器について	教材・教具 支援機器	  <p style="text-align: center;">実物投影机による提示                      スライドを作成しての発表</p>
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <p>○ 他者との意見交換を通してお互いの学びを深められるようにする。</p> <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読解場面では、他者の意見から自分に欠けている視点や考えに気づき、書き加えられるようにする。</li> <li>・ 表現活動では、心に残っている言葉や思い出について相手に分かりやすくなるようにスライドを作成できるようにする。</li> </ul>
	材料・作成方法等	タブレット端末、実物投影机、PowerPoint
子どもの変容や評価		・ スライド作成で、特に伝えたい言葉を強調したり、相手や目的に応じて工夫したりすることで問題解決・探究的な場面で思考力・判断力・表現力を高めることができた。